

議会だより

2017

平成29年11月1日発行

No.25



実りの秋の
楽しい、おいしい思い出
長炭こども園～いもほり～

Contents

平成29年度一般会計補正予算を可決

- ② 9月定例会
- ⑥ 委員会報告
- ⑩ いっぺん来てつか 議会報告会
- ⑪ 8人が町の考えを問う 一般質問
- ⑬ 議会からこんにちは
心をこめて「一輪の花を咲かせる」



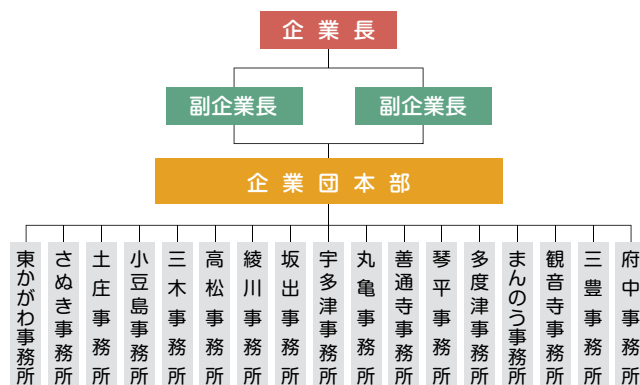
平成29年9月定例会

開催期間 9月1日～19日（19日間）

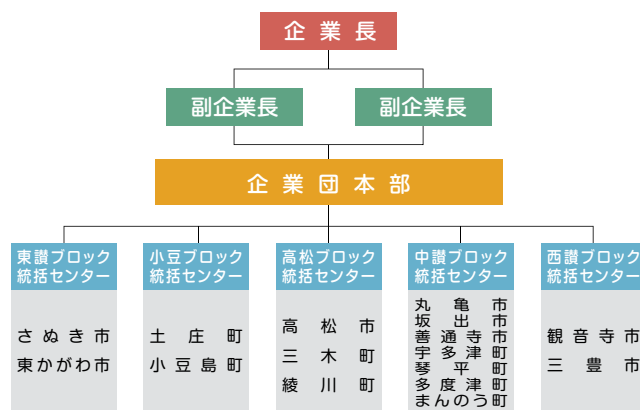
平成29年度一般会計補正予算案、町道路線の廃止案、香川県広域水道企業団の設置など8議案の審議を行い原案通り可決し、平成28年度まんのう町一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算の審議を行い認定した。議員発議の「全国森林環境税」の創設に関する意見書案を原案通り可決した。

香川県水道広域化基本計画企業団組織図

H30.4.1 企業団組織全体



H32.4.1 企業団組織全体



詳細は町ホームページに掲載予定

平成29年度9月補正予算（概算）

会計名	補正額	予算総額
一般会計	3億8851万円	111億6851万円
特別会計	1億1429万円	58億4049万円

平成29年度9月補正の主な内容（一般会計）概算

事業名	目的別名	補正予算額
畜産クラスター事業※	農林水産業費	1億3380万円
琴南支所改修工事	総務費	3387万円
小規模溜池修繕事業費	農林水産業費	3270万円

※畜産クラスター事業：地域の畜産・酪農業者や飼料生産業者が連携し畜産の収益性向上のために取り組む事業

●平成29年

9月定例会

即決案件

議案第3・4号

町官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査と契約の締結

【契約金額の増額】

金300万円

【契約相手】

高松市 三和会計事務所

税理士 米田 守宏 氏

【契約期間】

自 平成29年9月1日

至 平成30年3月31日



議案第9号

工事請負変更契約の締結

平成29年度琴南支所改修工事

【変更増の契約金額】

金3615万8400円（税込）



【既契約金額】

金2億9484万円

【契約相手】

丸亀市 第二建築株式会社

代表取締役 島川 修治 氏



発議即決案件

発議第1号

「全国森林環境税」の創設に関する意見書（案）

○意見書抜粋

我が国の地球温暖化対策については、とりわけ森林呼吸源対策の推進が不可欠となっている。

しかしながら、森林が多く所在する山村地域の市町村においては、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減少など、厳しい情勢にあるほか、市町村が、森林呼吸源対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

平成29年度税制改正大綱において、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」にし「平成30年度税制改正にお

いて結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

提出者 川原 茂行
賛成者 大西 豊
賛成者 三好 勝利



付託案件

9月6日～8日、12日～14日の6日間に渡り執行部に必要な書類の提出と詳細な説明を求め、慎重に審査を行った。

・議案第7号、議案第8号、認定第2号から第4号、認定第8号は教育民生常任委員会で審査・採決を行った。

・議案第1号、議案第2号、議案第5号、認定第5号から第9号は建設経済常任委員会で審査・採決を行った。

・議案第6号、認定第1号は総務常任委員会で審査・採決を行った。

教育民生常任委員会付託

議案第7号

29年度国民健康保険特別会計補正予算(案)第1号

●所管課より主な説明

前期高齢者交付金の制度等について。

原案可決

議案第8号

29年度介護保険特別会計補正予算(案)第1号

●所管課より主な説明

償還金について、及び、その財源は前年度の繰越金であることについて。

原案可決

認定第2号

28年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

●所管課より主な説明

保険給付金、国民健康保険事業の状況、診療所の運営状況について。

原案認定

認定第3号

28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

●所管課より主な説明

後期高齢者医療の概用、後期高齢者医療広域連合納付金について。

原案認定

認定第4号

28年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定

●所管課より主な説明

居宅介護サービス給付費、地域支援事業、包括的支援事業等の各種事業、平成29年3月末現在の介護度別認定者数、介護保険サービス利用者数について。

原案認定

認定第8号

28年度浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定

●所管課より主な説明

浄化槽維持管理基数について。

原案認定



家庭排水をきれいな水に

建設経済常任委員会付託

議案第1号

道路線の廃止

ほ場整備に伴い長尾地区の町道下王地線を廃止した。

原案可決



町道から農道へ

議案第2号

字の区域の変更

長尾地区において県営中山間地域総合整備事業まんのう地区(ほ場整備事業)長尾地区を施工したことに伴い新字界を定めた。

原案可決

議案第5号

香川県広域水道企業団の設置

水道事業及び工業用水道事業の経営に関する事務所等を共同処理するため香川県広域水道企業団を設置。

●主な質疑と答弁

【委員】町として、賛成は可とするが万一、水不足の折、まんのう町より水を供給する場合の対応はどうするのか。

【執行部】設置契約の附帯事項等で、詳細事項を明記する。

認定第5号

28年度簡易水道特別会計歳入歳出決算認定

●所管課より主な説明

事業内容、決算状況、各簡易水道事業ごとの給水状況について。

認定第6号

28年度下水道特別会計歳入歳出決算認定

●主な質疑と答弁

【委員】公共下水道計画実績で、供

用開始人口、接続人口が前年度と比べ、ともに減っている原因は何か。

【執行部】毎年度、アパート等入居者等の関係で増減がある。

【委員】水洗便所改造助成金が0円であるが推進しているのか。

【執行部】下水道エリア内については推進している。

認定第7号

28年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定

●所管課より主な説明

営業実績等について。

認定第9号

28年度水道事業会計決算認定

●主な質疑と答弁

【委員】宿日直をシルバー人材センターに委託しているが問題はないか。

【執行部】夜間対応等もスムーズで、トラブルや問題はなかった。

総務常任委員会付託

議案第6号

29年度一般会計補正予算(案)第1号

●各所管課より主な説明

○かりんの里づくり事業費

・かりん亭調理場にあるうどん製造機買い替えによる増額について。

○情報通信システム管理費

・光ネット設備保守点検委託料について。

○地方創生推進事業費

・ものづくりプロジェクト事業について。

・古いパソコンの買い替えによる増額について

○琴南支所管理運営費

・駐車場舗装工事の設計委託料について。

・工事請負費として舗装工事、琴南支所改修工事による増額について。

・琴南農村環境改善センターのエアコン修繕費について。

認定第1号

28年度一般会計歳入歳出決算認定

●主な質疑と答弁

【委員】畜産クラスター事業の補助金対象はどのようになっているのか。

【執行部】建屋と排水処理施設の建築費は補助事業対象であるが、造成工事費は対象に含まれない。

【委員】特定目的基金が、全く使われなかったことはあるのか。

【執行部】すべて、目的に沿って運用されている。

【委員】すべての公用車にドライブレコーダーを導入した効果は。

【執行部】職員一人ひとりが、交通安全に心がけるのではないかと考えている。

【委員】職員研修の制度と効果についてはどう考えているのか。

【執行部】人事評価研修では、数値目標を持って、職員が業務を行っていくことにより、スキルアップにつながっていると考えている。

教育民生常任委員会

- 内科診療所 ●仲善クリーンセンター ●ゴミの不法投棄 ●子育て支援ホームヘルパー事業
●子どもの貧困対策 ●国民健康保険の広域化 ●神野公民館

まんのう町 内科診療所
順調な運営で地域医療に
貢献し続けてほしい

【委員】診療延人数は、昨年と比べて減少しているが、診療報酬が増えている要因は何か。

【琴南支所長】在宅での特定疾患の医療費が高額のため診療報酬が増額となっている。

仲善クリーンセンター

環境問題に配慮した
料金設定を

【委員】個人で直接ゴミを持ち込んだ場合、料金は10キロ200円だが、半額の10キロ100円に下げれば持ち込む人も増え家庭でゴミを焼く人が減るのではないか。環境問題を主体に考え持ち込み料金を下げることはできないか。

住民生活課長

要望があったこ



環境に優しい施設

とを仲善クリーンセンターに伝える。

ゴミの不法投棄
制度の変更が
必要ではないか

【委員】家電製品の不法投棄が多数あり町がりサイクル料金を負担している。購入時、自動車のリサイクル料金同様に先払いする事により不法投棄が減るのではないか。国、県の機関に働きかけてはどうか。

【住民生活課長】要望があったことを関係機関に伝える。



母の安心と子どもの笑顔あふれる町づくり

子育て支援ホームヘルパー事業
事業内容の見直しを

【委員】ホームヘルパー事業は、利用者が少ない。事業内容の見直しが必要ではないか。産後の訪問ケアにも力を入れていく時期にきているのではないか。

【健康増進課長】今後、もっと多くの方に利用して頂けるように検討する。

子どもの貧困対策

一歩前進の取り組みを

【委員】子どもの貧困対策市町担当者説明会において、町に關係する取り組みの説明があったか。

【福祉保険課長】子ども食堂等の事例報告、今後の県の方針、計画についての説明があった。

国民健康保険の広域化
納得できる検討が必要

【委員】町、住民にとってのメリット、デメリットについてはどうなのか。

【福祉保険課長】本年8月末に、28年度の実績を用いた29年度の推計ベースでの保険料必要額が推計される。それをもって議会に説明したい。

神野公民館

地域住民にとって
安心・安全な施設を

【委員】改修を行うなどの考えはあるのか。

【生涯学習課長】旧神野小学校の校舎は取り壊して駐車場にする。神野公民館は、勤労青少年ホームの前に新設するよう検討している。



駐車場に生まれ変わる予定の旧神野小学校

建設経済常任委員会

●地籍調査

●香川県広域水道企業団

●早明浦ダム

●農業委員会

●農地

地籍調査

このまま順調な進捗を

【委員】全国的にみて香川県、まんのう町の調査状況はどうか。

【地籍調査課長】香川県の平均は85%、全国7位、本町は94%と進んでいる。

香川県広域水道企業団

参画によってぐい変わる

【委員】香川用水の香川県への供給量はどのようになるのか。

【水道課長】現在1日約25万トンであるが、事業完了後は31万トンになる予定である。

早明浦ダム

渇水時の対応は

【委員】早明浦ダムの貯水量が枯渇し、他の市町から本町へ供給してくれと要請があった場合、どうするのか。

【水道課長】基本協定書の中に、実施については、「関係団体が協議の上決定する」とあるので、関係団体に意見を求めることになる。

農業委員会

スムーズな新体制への移行を

【委員】新体制では定数19名のうち認定農業者及びそれに準ずる者5人以上とは。

【農林課長】準ずる者とは、認定農業者のOBの方、認定農業者の家族従事者の方、認定の新規就農者、集落営農団体代表者等である。

農地

荒廃農地のくい止めを

【委員】荒廃した農地は、本町にどれくらいあるのか。

【農林課長】復旧が困難な農地が約300ヘクタール、復元はできるが、作付ができない農地が約200ヘクタールある。



作り手がなく草におおわれたかつての農地（イメージ）

総務常任委員会

●防災 ●全国瞬時警報システム ●地域交通 ●ふるさと納税 ●公共施設の管理・運営 ●成長戦略

防災

より
詳しい情報提供を

【委員】 防災出前講習状況では件数だけでなく、開催した場所と参加者の人数を、火災発生状況についても、原因等も町政報告の際に記してほしい。

【総務課長】 次回以降、町政報告に載せるよう検討する。



町総務課でしっかり管理しているJアラート

全国瞬時警報システム

いざの時に
役立つかが重要

【委員】 以前、Jアラートで全国的に不具合があったと思うが、まんのう町は問題ないか。

【総務課長】 まんのう町の場合は、確実に処理できている。



地域交通

移動手段の確保を

【委員】 路線バス、あいあいタクシーとともに増便の要望があるが可能か。

【企画観光課長】 路線バスの琴参バス便数については現状維持が限界である。琴参バスも経営があり、収支関係や利用者のバランスを考えた場合、便数を増やすのは難しいと考えている。



ふるさと納税

さらなる増額へと
つなげるため

【委員】 ふるさと納税をされる方がどのような目的で納税されたかは、わかっていくのか。

【企画観光課長】 総括的には判断できていない。今後データを見ながら考えていきたい。

公共施設の管理・運営

サービスの向上と
行政コストの削減を期待

【委員】 指定管理者評価委員会、出資法人評価委員会を開く時期はいつ頃か。

【企画観光課長】 年内と考えている。

成長戦略

分析による戦略が必要

【委員】 町の成長戦略を考える上で参考となるような税情報を分析して報告してほしい。

【税務課長】 課税状況調書等の基礎データをもとに報告用の資料を作成していきたい。

全国森林環境税創設総決起大会「第24回定期総会」



一致団結し運動を推進

全国森林環境税創設促進議員連盟は、森林の果たす公益的機能とその重要性を広く国民に訴えようと、森林、林業、山村対策の抜本的な強化を図るための「全国森林環境税」の早期導入に向け全国の関係市町村議員が、一致団結しより強い運動を展開することを宣言し閉会しました。

全国森林環境税促進議員連盟による「全国森林環境税」の早期導入実現のため高知市において、森林環境税についての議員研修がありまんのう町議会より14名の議員が参加しました。先ず初めに会長の挨拶のあと林野庁計画課長（小坂善太郎氏）の森林環境税（仮称）の検討状況についての説明があり、そのあと公益財団法人 自然エネルギー財団（相川高信氏）による「森の恵みの現代的なエネルギー利用について」の記念講演がありました。

建設経済常任委員会

【日時】平成29年8月2日～4日

【場所】北海道北竜町

Report

02



先進事例をしっかりと学び今後に生かす

建設経済常任委員会視察

達したそうです。（最近、台湾など外国人も多いそうです）又農家に対する栽培委託料は水稻生産を基準にしているそうです。予算配慮として町の一般予算約30億の1%即ち約3千万を毎年ヒマワリ関連予算に費やしているそうです。

8月2日より「北海道北竜町」（旭川市西南部）へ「ヒマワリ栽培」の研修視察に委員3人、職員4人で行ってきました。

北竜町は人口約20000人、町予算30億、面積160km²と本町より小さい町です。町はまちおこしの一環として昭和55年頃より一村一品運動として「ヒマワリ栽培」に取り組んできました。現在、日清グループと提携してヒマワリ油を生産しています。町が約150kgの種子を用意し農家に委託栽培させています。本年度23haを作付したそうです。又7月15日～8月20日まで37日間「ひまわり祭り」を開催して各種のイベントを開催しています。約30年の歴史があり、観光客も毎年増えて28年度は26万人に達したそうです。



追悼の辞

議長 田岡 秀俊



故 関 洋三 まんのう町議会議員

生者必滅、会者定離の理とは申せ、未だ春秋に富めるあなたの急逝は、今もつて実感となり得ず、立ちこもる香煙の中に、呼べども答えぬあなたに、悲しき別れのことを申し上げることになろうとは、私の夢想だにできなかったところであり、人生の無常を嘆かざるを得ません。

あなたの突然の訃報に接し、言いようのない驚きと悲しみの中で、あなたとこの世で、再びお目にかかれぬ事実を、自らの心に言い聞かせるとき、運命のあまりの厳しさに、心打ひしがれる思いで、懸命のあまりの厳しさに、心打ひしがれる思いで、積極的郷土の発展に献身され、その業績の数々は、満濃地区の方々をはじめ、広く町民の尊敬するところであり、

あなたは、平成3年に初当選以来、四期16年の長きにわたり、地方自治推進に大きな足跡を残されました。その間、交通安全対策特別委員長、教育民生常任委員長、政策充実特別委員長、議会広報特別委員長として、また、平成26年4月から2年間、まんのう町議会議長として活躍されました。あなたの優れた識見と円熟した人格は、接する人に親愛の情と敬意を起さしめ、事を運ぶにあたっては、常に中心的な役割を果たされ、今後、議会運営にあなただのご活躍を期待するところ、まことに大きなものがありましたのに、まだ65歳で幽明境を異にせられましたことは、誠に惜しみて余あるところであります。

私どもは生涯、議員としての政治にかける情熱、深い愛郷の精神を受け継ぎ、今後とも一致結束して、まんのう町政の発展と住民福祉向上のために、まい進することこそ、あなたのご遺徳にお報いする道であること、決意を新たにしております。

今はご遺族の悲しきをお慰め、お慰めの言葉もありませんが、泉下の霊には、どうか安らかな永久の眠りを心よりお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

平成29年8月4日

まんのう町議会 議員一同

町の無事故を願い、運動に参加する
ありし日の関洋三議員

第12回議会報告会（意見交換会）

町の将来や課題について、また議会へのご意見などお聞かせください。どの会場でも自由にご参加ください。

町内4会場で開催します。

議員は2班に分かれて伺います。

	1日目	2日目
日時	11月28日(火) 19時～21時	11月29日(水) 19時～21時
場所	琴南公民館 A班 仲南公民館 B班	吉野公民館 A班 高篠ふれあい センター B班

A班

◎川原 茂行
松下一美
白川 皆男
合田 正夫
川西米希子
竹林 昌秀
(田岡 秀俊)

B班

◎大西 豊
三好 勝利
藤田 昌大
大西 樹
白川 年男
白川 正樹
三好 郁雄
(田岡 秀俊)

議長はどちらかに出席します

当日議会だより25号をご持参してください。

いっぺん来てつか

もっと身近な
議会に！

議員名	質問内容	関連ページ
合田 正夫	・ 有害鳥獣対策 ・ 育樹祭について ・ 満濃農村環境改善センターについて	12P
川西米希子	・ 災害時対策	12P
松下 一美	・ かりんの丘公園のサッカー場の利用拡大を問う ・ 防災組織の今後を問う	13P
竹林 昌秀	・ 町内地域交通の運用実績とその問題点をどう把握しているのか。 ・ 公の施設の指定管理者の運用課題を問い、改善策の手立てを求める。 ・ 本町の児童生徒の近況の実績報告を求めて、顕著な実績があれば、その個別具体を巡る意義を問う。	13P
三好 勝利	・ 多治川ダムの再構築について ・ 職員の配置異動について	14P
川原 茂行	・ 集中豪雨に対する森林整備をどう考える ・ 農業振興について	14P
三好 郁雄	・ わが町の防災対策はどのように考えているのか ・ 空き家を再利用して住んでいただく制度を町はどのように考えているのか。	15P
白川 正樹	・ 中学生の国際交流について	15P

まんのう町 HP 議会情報 <http://www.town.manno.lg.jp/gikai/>

議員



町長・教育長

議員が町の考えを問う

9月定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に掲載していますので、ご覧ください。

そうだ、議会へ行ってみよう！

町議会は、どなたでも傍聴できます。
会議日程は、ホームページ、
告知放送でお知らせしています。

次回の定例会は
12月に
開催予定です。

詳しくは議会事務局へ ☎0877-73-0109



議会の傍聴席（後方）

まんのう町 HP 議会情報 <http://www.town.manno.lg.jp/gikai/>

有害鳥獣対策

問 補助金の充実と周知を図り
個体数の減少推進を

答 複数の種類に補助金を交付
していることを周知していく

合田 イノシシは、年間を通して補助金の交付があるが、サル、シカについては、どのように取り決めているのか。

町長 イノシシ、サル、シカについては、一頭当たり1万円。アライグマ、ヌートリア、ハクビシンは、一頭当たり3千円を交付している。有害鳥獣捕獲実施隊の皆さんに一層のご尽力をお願いしていきたい。広報等を通じて補助金事業を周知するなど農業被害の防止に努めていく。

鳥獣供養

問 毎年、開催することが
必要ではないか

答 本年度も実施の方向で
調整したい

合田 猟友会、有害鳥獣捕獲実施隊員の方々も供養を行うことを要望している。捕獲者の安全祈願と合わせて必要ではないか。

町長 平成28年度は11月に開催したが、本年度は全国育樹祭の関係から



合田 正夫 議員

時期は、昨年度より
遅い開催になると考えている。

満濃農村環境改善センター

問 早期の改修を

答 平成32年度までには
改修したいと考えている

合田 建築から35年が経過して、建物や設備は老朽化が進んでいる。備品についても破損や劣化が見られる。早期の改修が必要ではないか。

町長 発生が危惧される南海トラフ地震にも備える必要があるため十分に調査設計していきたい。



さらなる壁の
劣化も心配される

災害時対策

問 避難所に「災害対応型
紙カップ式自動販売機」設置を

答 資機材整備などと
比較検討したい

川西 避難所においてお湯の提供をどのように考えているか。災害に対応した紙カップ式は、赤ちゃんの粉ミルクの調乳やお湯を注ぐだけの非常食の調理、高齢者などの服薬時にも大変便利である。本町においても設置が必要ではないか。

町長 指定避難所の調理可能な施設においては、お湯の提供が可能と考えている。しかし保温可能な電気ポット等は数に限りがあるため、機器の整備等検討していく。災害対応型紙カップ式自動販売機は乳幼児のミルク作りなどにメリットがあると理解している。

聴覚障がい者への支援強化

問 「災害時支援用パンダナ」の導入を

答 支援を要する方々の意見を
聞き支援策を推進する

川西 音声の情報が入らなければ、的確な判断や避難行動が遅れてしまうことになる。「災害時支援用パンダナの導入」を行うなど手助けを必要とする人と手助けができる人との双方がわかるようにすることが必要ではないか。



川西 米希子 議員

いか。また、全ての障がい者に対する多様性に配慮した支援強化も必要である。

町長 地域防災計画を基本として要支援者対策を推進し誰もが安心安全な生活を確保できるよう努めていきたい。

子どもの安全強化

問 小中学校に「防災ずきん
防災ヘルメット」の導入を

答 教育委員会において
早急に結論を出す

川西 こども園、小中学校において子どもの安全や命を守ることは最優先の課題である。近年、我が国において災害が頻発している。こども園、小中学校において「防災ずきん、防災ヘルメットの整備」が必要ではないか。子どもたちの防災意識の高揚のためにも必要と考える。

教育長 子どもたちの安全の確保、防災意識の高揚の観点から防災ずきん防災ヘルメットを含め備えるべき防災関連備品について、早急に議論、検討をしていく。



ネット張り替えが望まれる多目的グラウンド

かりんの丘公園

問

多目的グラウンドの
利用拡大を

答

利用しやすい施設の
管理運営を行う

松下 現在多目的グラウンドは、サッ
カー専用であり、ネットの目が10cmと
粗いため、野球、ソフト、グラウンドゴ
ルフ等において、ボールがネットを抜
けるなど利用しづらい。ネットを細い
目に張り替えれば、グラウンドゴルフ
が2コース、少年野球等においても、
2面はとれ、各大会等においても、サ
ブグラウンドとして利用出来、利用拡
大が計れるのではないかと。

町長 多目的グラウンド場の利用団体
と、協議し、利用しやすい施設の管理
運営をおこなっていく。

防災士

問 早期に防災士の
組織立ち上げを

答

危機管理部門との
協働を考えている

松下 現在本町には防災アドバイ
ザーとして楠見司朗氏が就任されて
いる。元自衛隊員であり、阪神淡路を
始め東日本大震災等多くの災害時に
現地の対策本部で活動されていた。
本町の危機管理の充実が必要である。
南海トラフによる地震を始め大災害
に備え本町には20数名の防災士がい
るが、活用をどの様に考えているの
か。過去の質問においても連絡協議
会を立ち上げてはとの話もしたが、
楠見氏の下、災害に強い町づくりを
目指すべきと思われるが。

町長 防災アドバイザーの下、今後
町内在住の防災士をはじめ危機管理
部門との協働により防災・減災対策
を実施していく。



松下 一美 議員

向日葵プロジェクト

問

指定管理者の
評価は如何に

答

条例の上程する

竹林 向日葵プロジェクトの搾油と
加工施設は「公の施設」として、権
限と責任を明き明らかにすべきでは
ないか。

町長 年度内に設置及び管理に関す
る条例を上程したい。

専門性の発揮だ

竹林 事業者には食品衛生法の運用
見識を持ち、調理加工の専門性を
持っている企業に委ねるべきではな
いか。

町長 それを担える体制づくりを行
う。

実績ある事業者任せたい

竹林 オリーブ油販売の実績ある会
社か、全国への食品販売ネットワ
ークを駆使している町内企業に任せ
てはどうか。

町長 町内の公社などの第三セク
ターを想定している。



竹林 昌秀 議員

町内三セクを想定

竹林 飽食の時代の食品販売は今か
ら手探りの開拓では、無理だ。時間
をかける余裕はないはずだ。

町長 十分に検討する。

竹林 やすらぎ荘、飲用雑排水施設、
高度情報基盤、温泉、ロッジ、道の駅、
産直市とかの改善に結びつく評価を
何時までにやれるのか。

年内に提出する

町長 年内に評価委員会を開催する
予定。

個別外部監査を駆使できる

竹林 それらを、監査委員の了承を
得て、個別外部監査を使う方法をも
ある。施設の行う事業内容を把握し
ている専門家の見識を使わねばなら
ぬ。

町長 十分に検討する。

多治川ダム

問 再構築に取り組むことが必要ではないか

答 県に必要性を強く要望したい

三好 最近の局地的豪雨や大雨による土砂災害を防ぐための対策は非常に重要である。

町長 多治川ダムの再構築については、28年6月定例会にご質問があった。その時の回答として、香川県（当時の知事）は、「多目的ダムから治水ダムに方向転換がはかられたことにより、計画が変更した。今後、財

田川の河川整備計画を策定する中で多治川ダムをきちんと位置づけ、治水ダムとして、再度、国に要望していくことを考えてまいりたい。」とコメントしている。治水となると、ダム建設だけでなく河川の改修等様々な方法を考えることから、計画の見直し、検証等を行わなければならない。

本町としては、財田川流域関係市とともに、今まで以上に香川県に治水対策の必要性を強く要望したい。具体的には、財田川水系の河川整備方針等の策定、堤防の安全性確保や



三好 勝利 議員

洪水調整のための治水ダムの検討などである。

町職員の配置

問 専門職員・専従職員の配置を

答 体制を整えているところである

と

三好 行政サービスの質の向上には、各分野で優れた人材を各部署に配置することが必要ではないか。

町長 特定の職にて専従する体制を整えているところ。各分野で優れた人材育成は今後の町政運営上、必要であると認識している。しかし、職員の配置異動をすることで様々な職務に従事し、知識や技能を習得することは行政サービスの質を維持する上で必要であり、特定の職員を専従させることが必ずしも最善の方法ではない場合もある。

森林整備・集中豪雨

問 森林環境税をどう使う

答 町に予算を頂き有効に使いたい

川原 現在37都道府県においては独自の森林税の制度を設けている。（香川県は入っていない）そこで、国が進めている環境税ができた場合、国から県、県から町へと予算がきた場合、町長はどう対処するのか。又昨今の集中豪雨が香川県へもいずれ、来ると思うが、あわせて、質問する。

町長 森林を管理している町がこの税を森林整備のために利用すべきと思う。また、県に対しても国が進める環境税を

設定することを強く要望する。本町も平成16年台風を始め何度か激震災害にあつてい

る。その経験をもふま

オリーブ畑に生まれ変わる荒廃した山



え、また、今秋に育樹祭も本町で行われ、森林の大切さ、保護に更に力を入れていく。

農業振興

問 ほ場整備、パイプ配管等での農地の有効利用を

答 パイプ配管等に鋭意力をそそぐ

と

川原 町内に復元可能な田、畑が約200ヘクタールある。この田畑に対しても、ほ場整備をすべきと思う。本町は農業立町とも言っている。若者が命をかけて農業の世界で活躍している。町長の所信を問う。

町長 国の施策にのっとり、農地集積をはかり、所得向上を目指してゆく。本町も「ひまわりプロジェクト」の推進を成功させ、特に中山間総合整備事業でも、地元の要望を聞き、ほ場整備、パイプ配管等に鋭意力をそそぐ。



川原 茂行 議員



避難場所を明示

町長 各種災害に対応した対策が必要と考えている。①町内には、31箇所の指定避難所、32箇所の指定緊急避難場所がある。ハザードマップやホームページで周知するとともに避難所を明示する看板を設置している。②旧琴南中学校など4箇所に太陽光発電による蓄電施設を整備している。③南海トラフ地震発生時ににおける避難想定人数の最低3日分を確保している。

三好 ①避難場所の周知徹底。②避難所におけるライフラインの遮断時の対応。③備蓄食料品、水の十分な確保。などさまざまな対策が必要であるが、わが町の防災・減災対策をどのように考えるのに取り組んでいるのか。

町長 各種災害に対応した対策が必要と考えている。①町内には、31箇所の指定避難所、32箇所の指定緊急避難場所がある。ハザードマップやホームページで周知するとともに避難所を明示する看板を設置している。②旧琴南中学校など4箇所に太陽光発電による蓄電施設を整備している。③南海トラフ地震発生時ににおける避難想定人数の最低3日分を確保している。

空き家
問 利用促進で町の活性化を
答 対策計画を作成する

三好 空き家の利用は、町の大きな課題の一つである。増え続ける空き家を有効に利用することが町の活性化にも繋がっていく。町としては、空き家対策をどのように考えているのか。

町長 今年度、空き家等実態調査を株式会社ゼンリンと委託契約を締結したところである。現在、空き家利用者の登録は多いが、空き家の登録が少ないため利活用は低調である。今後、宅建協会などとも協力し登録しやすいように検討していきたい。

防災・減災
問 対策強化で更なる
防災・減災を
答 各種災害に対応するため
対策を一層強化する

三好 郁雄 議員

海外派遣事業
問 目的は何か
答 国際感覚の豊かな人に

白川 正樹 議員

白川 まんのう町国際交流協会MIEA(ミニア)の主な目的としては、①国際交流活動への支援②海外諸都市との交流③在住外国人に対する支援④研修などの実施がある。①の国際交流活動への支援として、中学生海外派遣事業等がある。中学生の海外派遣については、以前は中国だったが現在はシンガポールに替わっている。その理由とシンガポール以外の東南アジアの計画はあるのか。また中学生の心の変化は町にとって、いい結果が得られているのか。

教育長 中学生の海外派遣事業は、旧仲南町時代の平成12年度より始まり、平成18年3月に3町が合併し、訪問先を検討した結果、中学校の授業で英語を学んでいることや多民族国家で多文化共生の学習が出来ること、治安が良い事、アジアで一番経済が発展している等の理由でシンガポールになった。本年度も満濃中学校の2年生23名を派遣した。生徒た



貴重な体験を

ちは、外国の文化や人の優しさに触れた。この経験を活かし、学校の中心となって活躍し、また、町のリーダーとして、国際感覚の豊かな人間に成長してほしい。国際化社会が急速に進展していく中で、時代に即応した訪問先や研修内容を協議して、海外派遣事業を推進していく。



まんのう町川奥 兼若 諒さん 25歳
心をこめて「一輪の花を咲かせる」



出荷直前の花を胸に

人生にはさまざまな選択肢があり、生まれ育った地で暮らし続ける人もいれば、新たな地で生きていく人もいます。
兼若 諒さんは、ふる里まんのう町で生きていくことを選んだ若き青年就農者である。栽培を手がける花と向き合う毎日、やりがいと充実感に満ちているという。
現在は、自宅に2棟のハウスを建て約1万本の「トルコ桔梗」10種8色を育てている。農業大学で学んでいた時に、研究をしたことがきっかけで、自宅地域の寒暖差の大きい気候は特に栽培に適していると知り、卒業後トルコ桔梗に限定した栽培に取り組むことを決意、今年で5年目を迎えている。

年間を通して栽培をしているが、お盆からお彼岸にかけてが出荷の最盛期である。出荷先は、おもに花市場や産直だが、地元の人たちから直接注文を受けて配達もしている。「きれいな花をあげがとう」「この花を待つとたんよ。」と直接いただく笑顔と言葉は何よりの励みになると。
花づくりは、一本一本の花に愛情を込めた作業が必要であり、丁寧な水やりや、病気や虫からの予防も怠ることが出来ない。



一昨年、花が病気にかかり栽培を続ける事が出来ないのではとの危機もあったが土壌改良などの努力により今年もハウスの中で、トルコ桔梗は色とりどりの美しい花を咲かせている。
諒さんには、いつも温かく見守ってくれる父母がいる。祖母がいる。家族の支えがありがたいと語る。
諒さんは、花と向き合いながら、今居る場所でどう生きるかを大切に、今日も若き青春の日々を輝かせている。



議会広報特別委員会
委員長 川西米希子
副委員長 白川 皆男
委員 川原 茂行
委員 大西 豊
委員 白川 年男
委員 白川 正樹

あとがき

編集委員 白川 正樹

秋の野原を彩るコスモスが目に優しく映る季節となりました。「秋桜」とも書き、落ち着いた色合いの多い自然の中で、とても目を引く存在です。この委員での編集もこの号を含めて後2回です。「議会だより」も皆様の目を引く存在になるように、また手に取って読んでいただけるように日々努力をしています。

10月6日、今年も仲善教育会長炭支部の皆さんのお世話による待ちに待った“いもほり”が開催されました。



胸には子どもたちからの礼のプレゼント。
一思い出の1枚—

今月の表紙
いもほり
長炭こども園



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。
配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会議事局 TEL: (73) 0109 まで